

# 世界文化遺産国内推薦候補に決定

## 伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」



国の文化審議会は、7月19日に世界文化遺産の新たな候補に本市の伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」を選定しました。同日に市民ふれあいプラザで行われた報告会には、伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ会員や地域住民など約50人が集まり、推薦候補決定を喜び合いました。

### 世界中から多くの人々が見学に訪れるよう情報発信——津谷市長

推薦候補決定の吉報を受け津谷市長は「これまで、伊勢堂岱遺跡ワーキンググループやジュニアボランティアアガイドをはじめ、市民の皆さんからたくさんの方の支援をいただき、ここに大きな一歩を踏み出した。伊勢堂岱遺跡に世界中から多くの人が見学に訪れるよう情報発信していく。今後も関係自治体と連携を深め、世界遺産への登録実現を目指したい」などとコメントを発表しました。

### 万歳三唱で推薦候補決定を喜び合う

この日、推薦候補に決まったあと市民ふれあいプラザでは、地域住民約50人が集まり、伊勢堂岱ワーキンググループの佐藤善壽代表と虻川副市長が文化審議会の決定を祝う垂れ幕を披露すると、会場からは大きな拍手と歓声が上がりました。



4つのストーンサークルを有する伊勢堂岱遺跡



ばんざーい!

ました。

続いて、虻川副市長が「この推薦の決定は、多くの市民の皆さんが熱意を持って一生懸命に応援した結果。一刻も早い世界遺産登録を目指したい」などとあいさつしました。

このあと、伊勢堂岱縄文館の中嶋俊彦館長の音頭で、お祝いに集まった市民や関係者と万歳三唱して、推薦候補決定を喜び合いました。

### 6度目の挑戦で念願の推薦 平成32年の登録を目指す

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、秋田県と北海道、青森県、岩手県の4道県の資産で構成され、平成21年に国連教育科学文化機関（ユネスコ）の暫定リストに記載されましたが、国内推薦は5度見送られ、今回6度目の挑戦で推薦されました。関係自治体は、平成32年の世界文化遺産登録を目指しており、政府は来年2月1日までにユネスコに推薦書を提出するか検討を進めます。ユネスコは、平成32年の登録審査から世界遺産の推薦枠を文化遺産、自然遺産合わせて1国1件に制限するとしており、同じ平成32年の登録を目指す自然遺産候補「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」と競合する見込みです。

### 4道県の17遺跡で構成

縄文遺跡群は、4つのストーンサークルを主体とする本市の「伊勢堂岱遺跡」や大規模集落跡の「三内丸山遺跡（青森県）」、最大径が44メートル以上あるストーンサークルを有する「大湯環状列石（鹿角市）」など4道県の17遺跡で構成され、狩猟や採集などを基盤とした先史時代の文化を知る遺跡群として世界的な価値があると、これまで訴えてきました。

本市の伊勢堂岱遺跡は、米代川左岸に立地する縄文時代後期前半（約4000年前）の遺跡です。直径30メートル以上のストーンサークルを主体とする大規模な祭祀の場で、4つのストーンサークルが集中するのは、ほかに例がありません。縄文時代の祈りとマツリを考える上で重要な遺跡です。

## よろこびの声

北秋田の宝を 世界の宝へ

伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ代表 佐藤 善壽さん  
次の20年へ

当会は昨年で20周年を迎えました。遺産登録活動を始めて10年を超えましたのでうれしい限りです。その一方で本登録までまだ続きます。引き続き努力して参りますので、ご支援よろしくお願いします。



村上 己太郎さん

### ジュニアボランティアアガイド

ガイド4年目、ずっと願っていた国内推薦候補に決まっています、とてもうれしい。

僕たちジュニアボランティアアガイドはこれからも、遺跡の素晴らしさを多くの人々に発信していきたい。



小ケ田自治会 中嶋 優弥さん

### オラホの遺跡

大館能代空港の建設に伴って発見された伊勢堂岱遺跡。その遺跡がこの度、国内推薦候補となったことはうれしい限りです。地元の人として、これからも遺跡を大切に、後世に語り継ぎたいものです。



## 第18回縄文まつり

- 【日時】 9月8日(土) 11時～
- 【会場】 伊勢堂岱縄文館
- 土器土偶・勾玉づくり
- 音楽祭（佐伯モリヤスほか）
- サケの縄文大鍋（限定100食）
- 《お問い合わせ》
- 伊勢堂岱縄文館 ☎84・8710

### 遺跡見学の前に 伊勢堂岱縄文館で学ぼう 無料

遺跡の概要や出土した土器・土偶など展示している縄文館は、平成31年3月31日まで無料で利用できます。開館時間 9時から17時 休館日 毎週月曜日、年末年始 ※土・日曜と祝日には、ワーキンググループが無料でガイドを行います。

### 遺跡のガイドを募集

伊勢堂岱遺跡は、今後さらに多くの市民が「伝える」「広める」の役割を担うことで、真の地域の宝物となり、世界文化遺産登録を手繰り寄せる大きな原動力となります。市外の方も大歓迎です。

申し込み 生涯学習課  
住所・氏名・年齢・職業・電話番号をお知らせください。  
☎62・6618 FAX62・1669  
✉be-bunka@city.kitakita.akita.jp